



呉市制 120 周年記念 特別展 「南薫造と奥田元宋 一心に描く風景」展の開催について

呉市が生んだ日本近代洋画の巨匠・南薫造(みなみ・くんぞう)。その生家とアトリエが、呉市安浦町で安浦歴史民俗資料館(南薫造記念館)として一般公開されています。このたび、南薫造に憧れて画家を目指した日本画家の奥田元宋(おくだ・げんそう)と、南薫造の風景画を中心とした特別展を開催します。

■奥田元宋作品がやってくる！広島県を代表する二人の巨匠が描く美しき風景画の名品！

南薫造(1883-1950)は、瀬戸内海や農村の風景などを詩情豊かに描き、戦前から戦後にかけての日本洋画壇で高く評価された画家です。帝国美術院の会員となり、帝展の審査員を務めていた南は、画家を目指す中学生の奥田少年にとって憧れの存在でした。

本展では、広島県を代表する二人の画家が好んで描いた風景画を中心に、その画業を辿ります。生まれ故郷の瀬戸内を伸びやかな筆致で色彩豊かに描いた南薫造と、スケッチから得られる心象風景を独自の色彩で表現した奥田元宋の、それぞれの心に映る美しき日本の風景をお楽しみ下さい。



南薫造《帆船のある風景》



南薫造《農村午後》



奥田元宋《遠山早雪》



奥田元宋《春暖》

- 1 会 期 令和4年9月17日(土)～令和4年11月27日(日)
- 2 会 場 安浦歴史民俗資料館(南薫造記念館)
- 3 開館時間 9:00～16:30
- 4 展示内容 南薫造作品 12点 奥田元宋作品 10点(予定)
- 5 観覧料 一般200円, 高校生120円, 小中学生80円
(呉市いきいきパス保持者, 呉市及び広島中央地域連携中枢都市圏に在住または通学の高校生以下無料)
- 6 開会式
 - 1 日 時 令和4年9月17日(土)9時から(終了:9時15分(予定))
 - 2 場 所 安浦歴史民俗資料館(南薫造記念館)



呉市制120周年記念特別展

南薫造と奥田元宋

一心に描く風景



2022.9.17(土) - 11.27(日)

開館時間：9:00-16:30 休館日：火曜日

観覧料：一般200(160)円,高校生120(100)円,小・中学生80(60)円

* ()内は20名以上の団体料金。呉市に在住または通学する高校生以下は無料。

* 呉市いきいきパスをお持ちの方、障害者手帳等をお持ちの方は無料(要証明書)。

* 広島中央地域連携中枢都市圏(竹原市・東広島市・江田島市・熊野町・海田町・坂町・大崎上島町)に在住、または通学する高校生以下は無料。

上段左 南薫造《帆船のある風景》制作年不詳 南薫造記念館蔵

上段右 南薫造《農村風景Ⅰ》大正初期頃 南薫造記念館蔵

下段左 奥田元宋《遠山早雪》1984年 奥田元宋・小由女美術館蔵

下段右上 奥田元宋《待月》1949年頃 奥田元宋・小由女美術館蔵

下段右下 奥田元宋《室戸》1952年頃 奥田元宋・小由女美術館蔵

南薫造記念館
KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM



呉市制120周年記念特別展

南薫造と奥田元宋

一心に描く風景

呉市安浦町出身の南薫造(1883-1950)は、瀬戸内海や農村の風景などを詩情豊かに描き、戦前から戦後にかけての日本洋画壇で高く評価された画家です。1929(昭和4)年に帝国美術院の会員となり、帝展の審査員を務めていた南は、画家を目指す中学生の奥田少年にとって憧れの存在でした。自宅の壁に「帝国美術院会員 南薫造氏」などと落書きをしたり、南に自分の姿を重ねたりしながら、将来は日本画家になり審査員になりたいという夢を抱いていました。

本展では、広島県を代表する二人の画家が好んで描いた風景画を中心に、その画業を辿ります。生まれ故郷の瀬戸内を伸びやかな筆致で色彩豊かに描いた南薫造と、スケッチから得られる心象風景を独自の色彩で表現した奥田元宋の、それぞれの心に映る美しき日本の風景をお楽しみ下さい。



奥田元宋《月夜》1950年頃
奥田元宋・小由女美術館蔵



奥田元宋《春暖》1951年頃 奥田元宋・小由女美術館蔵



南薫造《農村午後》1914年 南薫造記念館蔵

小企画
①

南家の教科書 —明治期編—

(開催中) —12月19日(月)

明治検定制度以前の初年教科書、検定教科書等を展示します。

小企画
②

南家の絵はがきコレクションⅢ

—絵はがきで見る全国名所巡り—

(開催中) —10月24日(月)

全国の観光地で発行された名所・旧跡などの絵はがきを紹介します。

小企画
③

南家の絵はがきコレクションⅣ

—記念絵はがき特集—

10月26日(水) — 3月20日(月)

戦前に発行された様々な記念絵はがきを展示します。

画家の自筆原稿を読む③

—東京附近地名とアイヌ語—

(開催中) —2023年2月20日(月)

東京の地名に、アイヌ語の由来があることに興味を持った南が、その意味と解釈を加えて考察した自筆原稿を紹介します。

南薫造

Kunzō
Minami



広島県賀茂郡内海村(現・呉市安浦町)に生まれた南薫造は、東京美術学校(現・東京藝術大学)に学び、卒業後はイギリスに留学、フランスなどヨーロッパ各地で写生を重ねました。帰国後は文展、帝展などで作品を発表し、印象派風の光の表現を取り込んだ優雅で温かな画風が高く評価されました。帝国美術院会員や帝室技芸員として活躍し、母校・東京美術学校では教授として後進の指導に当たりながら、多くの芸術家との交流を通じて日本洋画の発展に貢献しました。

関連イベント

① ガーデン・コンサート

～ピラフォンとピアノのデュオ～

日時：9月18日(日) 13:30～

演奏者：ピラフォン 大嶋純子さん
ピアノ 森本ひかりさん

参加費：無料(入館料が別途必要)

定員：20名(整理券)

② 日本画ワークショップ「岩絵の具で描いてみよう」

岩絵の具を使って、日本画を描く体験をしてみよう。

日時：10月2日(日) 13:30～15:00

講師：創画会会友・広島市立大学非常勤助教
前田由芽さん

対象：小学生以上(小学生は要保護者同伴)

材料費：500円(入館料が別途必要) 定員：10名(先着)

③ スライドトーク&秋のお茶会

日時：11月23日(水・祝) 14時～

トーク：担当学芸員

協力：古城良子さん

参加費：1人 300円(入館料が別途必要)

定員：20名(先着)

①は当日13時より整理券を配布し、多数の場合は抽選とします。②は

9/28(水)まで、③は11/16(水)までに、呉市文化振興課へ電話(0823-25-3462)またはメール(bunsin@city.kurelg.jp)で必要事項〔住所・氏名・学年・連絡先〕を記入してお申し込み下さい。

新型コロナウイルスの感染状況により、開催情報等に変更が生じる場合があります。

最新情報は呉市文化振興課までお問い合わせ下さい。

ご利用案内

■ 車利用の場合

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。

クアライン呉ICより約60分。

無料駐車場10台有。

■ JR利用の場合

JR呉線安浦駅下車、徒歩約900m



南薫造記念館

KUNZO MINAMI MEMORIAL MUSEUM

〒737-2519 呉市安浦町内海南2丁目13-10 ☎0823)84-6421

最新情報配信中!



公式Twitter
@minami_kunzo

